

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年7月21日配本 定価3520円(本体3200円+税) 日本アーレント研究会 編 アーレント読本	A5判並製・430頁
		★★ 二十世紀の全体主義の惨禍を、一人のユダヤ人女性として、亡命知識人として生きたハンナ・アーレント。政治的公共性や市民的自由がグローバルな危機に瀕し、民主主義の未来が脅かされる現在、彼女の思考の遺産から私たちは何を学ぶべきなのか? ベテランから若手まで総勢50名弱の気鋭の執筆者が、主要なテーマ群を最新の視点で掘り下げる決定版の入門書。各著作の解題や略年譜も付す。	ISBN978-4-588-15109-5 C1010
		☆関連書: 三浦隆宏著『活動の奇跡——アーレント政治理論と哲学カフェ』、正・統『ハイデガー読本』。	

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年8月7日配本 定価4180円(本体3800円+税) 許紀霖 著/中島隆博、王前 監訳 普遍的価値を求め 中国現代思想の新潮流	四六判上製・350頁 《叢書・ユニベルシタス 1121》
		★ 普遍という概念は、いまなお警戒されている。西洋近代も日本も自らを普遍と称し、それは数え切れない暴力を引き起こしてきた。では中国はどうか。本書は、中国中心主義や中国特殊論の批判を踏まえて、価値相対主義に陥ることなく、「共に享受する普遍性」としての「新天下主義」を提唱し、文明、文化、国家へと議論を展開する。真に多様性・多元性を尊重するための思考とともに、《ユニベルシタス》もまた、新たに始動する。	ISBN978-4-588-01121-4 C1310
		☆関連書: 中島隆博他編著『世界哲学史』(ちくま新書)、王前『中国が読んだ現代思想』(講談社メチエ)ほか。	

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年8月7日配本 予価6600円(本体6000円+税) バーバラ・レヴィック 著/マクリン富佐 訳 アウグストゥス 虚像と実像	四六判上製・596頁 《叢書・ユニベルシタス 1120》
		★ ローマ史に燦然と名を残す皇帝アウグストゥス。カエサルを継ぎ、対立する有力政治家や元老院の貴族勢力を抑え、やがて神的な至上権を握るまでにいたった毀誉褒貶の独裁者は、実のところいかなる人物であったのか? その政治手法やPR術に注目しつつ、青年オクタウィアヌスが自らを神話化していった行程をつぶさにあとづけ、帝政時代の礎がいかに築かれたのかを分析する歴史学の力作。英国の碩学レヴィックの初の邦訳。	ISBN978-4-588-01120-7 C1022
		☆関連書: アウグストゥスの人間像に最も深く迫る歴史書。古代史ファンにおすすめ。類書エヴァリット『アウグストゥス』(白水社、品切中)。	

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年8月下旬配本 定価3520円(本体3200円+税) ビエール・ブーレーズ、ミシェル・アルシャンボー 著/笠羽映子 訳 ブーレーズとの対話 (仮)	四六判上製・256頁
		★ 現代音楽の闘士と呼ばれたブーレーズが世界的指揮者として円熟期を迎える1990年代に行われたインタビュー。幼少期、学生時代から音楽家としてのキャリア形成期を経て国立音響音楽研究所(IRCAM)創設にいたる思い出を辿りつつ、音楽論、文学・絵画論、教育・社会・政治問題に対する姿勢が語られる。戦後フランスを駆け抜けた偉大な芸術家にして多才な知識人ブーレーズをあらためて知る貴重な対話集。	ISBN978-4-588-41034-5 C1073
		☆関連書: ブーレーズ『意志と偶然』、ブーレーズ/シャンジュ他『魅了されたニューロン』(以上、小局刊)。	

重版出来!!
5刷

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年6月22日重版出来 定価5940円(本体5400円+税) プリュノ・ラトゥール 著/伊藤 嘉高 訳 社会的なものを組み直す アクターネットワーク理論入門	四六判上製・588頁 《叢書ユニベルシタス1090》
		主体/客体あるいは人間/自然といった二分法的世界認識を超え、脱中心的なネットワークとして社会を記述するアクターネットワーク理論。アーリ、ラッシュに多くの社会学者に影響を及ぼし、文化人類学、都市工学、情報工学にもインパクトを与えた画期的な方法論を、提唱者であるラトゥール自身が解説する。ヴァーチャル化、グローバル化が進む現代の知見をふまえてアップデートされたラトゥール社会学の核心。	ISBN978-4-588-01090-3 C1336
		☆関連書: U. ベック『危険社会』、J. アーリ『社会を越える社会学』(いずれも小局刊)ほか。	

好評既刊!!

帖合・番線	部数	6/13『日本経済新聞』、5/31『東京新聞』、5/3『産経新聞』、5/28号『週刊文春』にて書評掲載! 法政大学出版局 2020年4月15日配本 定価2420円(本体2200円+税) 権代美重子 著 日本のお弁当文化	四六判並製・252頁
		和食が世界無形文化遺産に登録され、近年ますます国内外から注目されている「お弁当」。百姓や雑兵の携行食から、観劇のお供の幕の内、各地の名産の詰まった駅弁、松花堂や現代のキャラ弁にいたるまで、庶民のエネルギー源であり美意識の表現でもあったお弁当は、どんな歴史を歩んできたのか。だれもが愛する独特の文化を、器や食の作法の伝統にも注目しながら語り下ろした初の書。オールカラー。	ISBN978-4-588-30052-3 C0039
		☆(駅弁本)〈お弁当レシピ本〉〈食文化本〉など、日本の食文化の書棚に必備の、一般読者向け教養書です!	

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。